



大 樹

岩田小学校たより No.2
令和3年5月14日

～志をもって 進んで考動する子～

5月6日の岩っ子ウォークでは、地域のすてきな場所へ行ったり、地域の方にお話を伺ったりしました。改めて、岩田地区の魅力を再発見することができました。協力していただいた地域の皆様に感謝申し上げます。

5月会礼 校長の話

4月14日の代表委員会で、「児童会活動のスローガン」が提案されました。児童会代表の6年生もう一度みんなに紹介してください。

「全員が笑顔で、自分からあいさつ・考動ができる岩田小にしよう」です。

毎朝、私は学校の正門で登校してくる皆さんと出会いますが、ほとんどの人たちは自分から大きな声で「校長先生、おはようございます！」というあいさつができています。10人いれば9人は私の顔を見て、進んで元気な声であいさつをしてくれます。あとの1人はどんな人でしょうか？

もう一つみなさんに考えてほしいことがあります。スローガンの中に『「考動」ができる岩田小にしよう』という言葉がありますね。この写真を見てください。もし、あなたが今からトイレのスリッパをはくとすればどのスリッパをはきますか？こっちですか？それともこっちのスリッパですか？

このスリッパを使った人は慌てていたのかもしれませんが。慌てていなくても次に使う人のことを考えていなかったのかもしれませんが。



でも、みなさんなら次にスリッパを使う人のことを考えた行動がきっとできるはずです。それが「考動」です。体育館横のトイレには「はきものをととのえる人は、心もととのう」という張り紙が掲示されています。ちょうど今日午前中の「岩っ子ウォーク」で訪問した増参寺のご住職さんも「はきものをととのえましょう」というお話をしてくださいましたね。

ご住職さんや私の話を聞いて、「なるほど、そうだな」と気が付いた人も大勢いると思いますが、これからはできるだけ自分から気が付いて、人のことを考えられる行動のできる岩っ子になってほしいと思います。また、これからはもしもこんな姿のスリッパを見かけたら、そっとスリッパをととのえてあげることも「考動」ですね。これからのトイレのスリッパの整とんがとても楽しみです。